

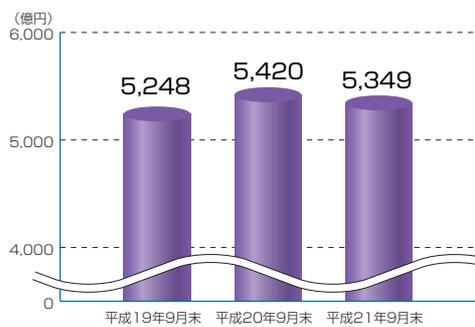
2009年9月期決算ハイライト

■ 預金残高



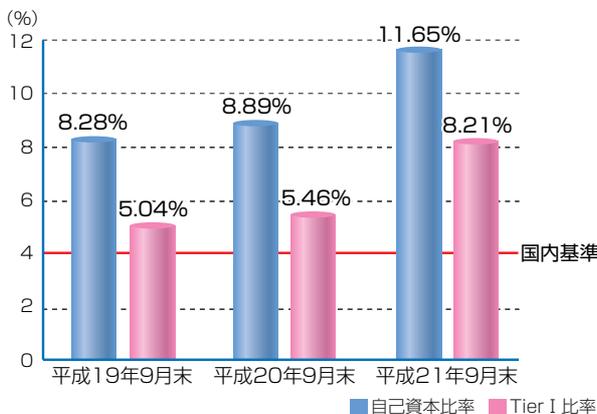
小口で安定した資金の確保を目指し、個人のお客さまを中心に預金の増強を図ってきた結果、預金残高は前中間期比76億円増加し7,002億円となりました。

■ 貸出金残高



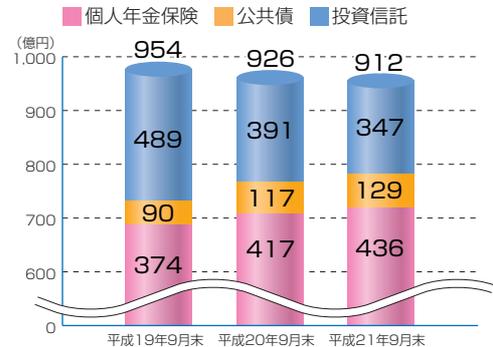
個人のお客さまには住宅ローン及び消費者ローンを中心に取組み、事業性貸出については積極的なポートフォリオの改善に向け、政府関係機関向けの大口融資を抑制した結果、貸出金残高は前中間期比71億円減少し5,349億円となりました。

■ 自己資本比率



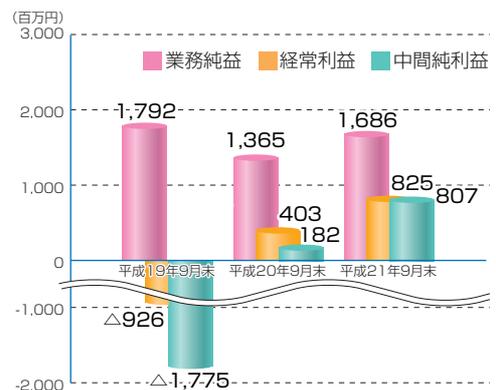
自己資本比率は、11.65%と国内基準で必要とされる4%を大きく上回っております。また、自己資本のうち資本金、資本準備金、利益剰余金などで構成されるTier I 比率は8.21%となりました。

■ 預り資産残高



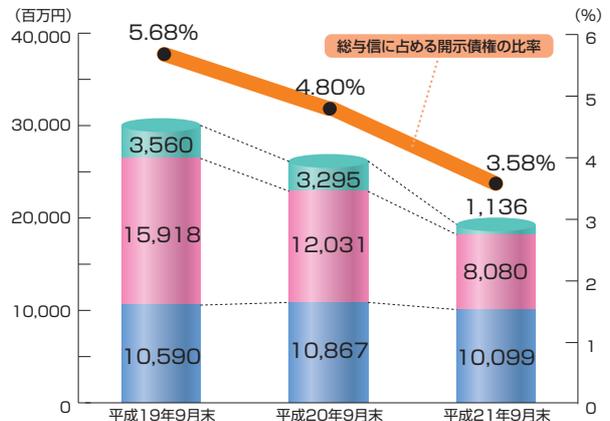
リーマンショックに端を発した市場の混乱により、投資信託の基準価格の下落や投資意欲の減退から、預り資産残高は前中間期比14億円減少し912億円となりました。

■ 業務純益・経常利益・中間純利益



預貸金収支の改善や経費の圧縮に努めた結果、業務純益は前中間期比3億円増加して16億円となりました。経常利益は前中間期比4億円増加して8億円、中間純利益は前中間期比6億円増加して8億円となりました。

■ 開示債権額と開示債権の比率



開示債権額は前中間期比68億円減少し193億円となり、開示債権比率については前中間期比1.22%減少し3.58%となりました。